



せせらぎ

令和7年11月26日

富士市立原田小学校

学校だより 12月号

(令和7年度 重点目標) みんなのために 自分のために

冬休みが間近です！今年の振り返りをしてみましょう。

12月が近づいて朝夕の寒さが増してきましたが、子供たちの中にはまだまだ薄着で登校する子もあり、休み時間には友達と連れ立って運動場で遊んでいる姿も多く見られ、その元気のよさに感心します。インフルエンザも市内の各学校ではかなりの流行が見られます。原田小では、現状、罹患者は少人数ですが、体調管理には気を付けて過ごせるようご家庭においても、子供たちへの声掛けを行っていただけたとありがとうございます。



令和7年も、あとひと月ほどとなり、子供たちが楽しみにしている冬休みも間近です。この1か月は、4月からここまで学んだことや身に付けたことを振り返って、自身を振り返る時間にしてほしいと思います。年が明けたら、現学年も残り3か月となります。学校においても、学習面・生活面と、しっかりと整った上で冬休みに入していくよう指導してまいります。12月も、原田小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

パラアスリート出前授業

11月13日(木)に、パラアスリート出前授業が行われました。パラリンピック水泳で金メダルを獲得した木村敬一選手(視覚障害)をはじめ、久保大樹選手(麻痺)、齋藤元希選手(視覚障害)、富樫航太郎選手(小人症)、南井瑛翔選手(下肢欠損)の5人の日本代表パラアスリートが原田小を訪問してくださいました。パラアスリートならではの苦労話をしていただいたり、障害者目線に立った体験学習などを行ったりしました。体験学習では、子供たちが2人1組になり、一人の子供が目をつぶって「目が見えない」役になり、もう一人が「片手を使えない」役になり(利き手を背中のところに固定する)、2人で協力してペットボトルのふたを開け、ペットボトルの中の水を紙コップに移し、水の入った紙コップをゴールのバケツまで運ぶ活動を行いました。子供たちからは、「難しい！目が見えないってこんなに不便なの？」「パラの選手たちって本当にすごい！」と、障害のある方たちの大変さの一端を感じている姿が見されました。出前授業の後には、選手の皆様から各クラスにサイン入りの色紙もいただきました。子供たちにとっては、大変貴重な授業になりました。



お話をされるパラアスリート選手の皆さん

ペア読書

11月14日(金)には、今年度2度目のペア読書が全校で行われました。1・6年生、2・5年生、3・4年生のペアで行われ、今回は下の学年の子供たちが上の学年のお兄さん・お姉さんに自分の選んだ本を読み聞かせしました。下級生は、たどたどしくも一生懸命に本を読み、上級生は温かな気持ちで見守るように下級生の読み聞かせの話を聞いていました。どのペアも、とても微笑ましく、心温まる時間でした。



ペア読書の様子

各種ボランティアの皆さんに支えられています

11月13日(木)には、1年生が国語「はたらくじどう車」で学習したいろいろな車について、「実際に子供たちに見てもらいたい」と、全建総連青年部様のご厚意で原田小にショベルカー・ダンプカー・クレーン車が登場しました。ショベルカーの大きなショベルで砂場の土を掘り起こしダンプカーに砂を積み込んだり、100キロほどある大きなタイヤを、クレーン車を使って持ち上げたりする様子を見せていただきました。子供たちからは「すごい」という歓声とともに、大きな拍手も上がっていました。その様子を見に来た第三保育園の園児たちも大喜びでした。



ショベルカーに見入る1年生

その他にも11月は、いつもの月にも増して地域の皆様のお力をお借りする機会が多くありました。3年生のスーパー「ビッグデイ」の見学の付き添いや、2年生の地域学習への付き添い、3年生ローマ字検定へのボランティア、クラブ活動へのご協力、学校の環境整備活動へのご協力など、本当に地域の皆様に支えられ、原田小での充実した教育活動ができていると感じています。協力していただいた皆様、ありがとうございました。